

信楽中学校区の学校再編に係る保護者説明会での質疑応答内容

説明会当日に行った質疑応答の結果を公開します。

質問やご意見の中で、個人が特定できる内容等については、削除しています。

No.	質疑	回答
1	特別支援学級に在籍する児童等について、再編で児童数が増えた場合の支援や設備面、心理的ケアに不安がある。	再編後も支援員等を充実させ、心理的ケア等を重厚に対応したい。
2	加配教員や支援員の充実について「一定期間」とあるが、配置期間は具体的にどれくらいか。	「一定期間」は学校や子どもの状況を見ながら配置を調整したいと考えている。
3	児童数の増により、教員一人当たりの負担が増えるのではないかと懸念する。	教職員定数は法律に基づき決まっているが、市として支援員等の加配の工夫をしたい。
4	入学説明会の前日に、再編説明会があるのは何故か。	昨年9月に第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）を策定後、特認校や小中一貫教育、通学手段等の検討を進めた結果、説明会が1月となった。入学説明会前日を意図的に設定したわけではない。
5	学校再編により、維持管理コスト等が削減されると思うが、削減額は、教育に還元されるのか。それとも市の他の予算に回るのか。	削減できた差額については、教育に手当てされるよう財政局と調整する方針。信楽エリアに重点的に配分するかは検討となるが、再編で生じる子どもの不安などに対応できるよう調整したい。
6	スクールバスの運行を検討するとあるが、検討上運行しないこともあるのか。	運転手不足等の可能性も考慮し、直営方式も選択肢に入れている。スクールバス単体で安全に運行できる方式を目指す。
7	児童数が極端に少ない地域でもスクールバスは運行されるのか。また、費用はどうなるか。	対象児童が極めて少ない場合は、コスト面を考え、タクシー利用等も視野に安全最優先で対応したい。基本的には公費で対応する方針。

8	未就学児向けの周知が不足しているという指摘があるが、どのように考えているか。	児童の保護者には保護者連絡アプリ「すぐーる」で案内し、園児の保護者には各園の保護者連絡アプリで案内しているが、未就園児には個別通知が難しいため、子育て支援センター等を通じて案内していきたい。
9	統合後の体操服とカバン等の扱いはどうなるか。	学校再編準備委員会において検討いただく予定。現時点での決定はない。土山地域の事例では、既存の体操服をそのまま使用されたりしていた。
10	「統合」と「再編」の意識のずれがあると思うが、どう考えるか。	再編で進める方針。学校再編準備委員会で地域や保護者の意見を反映し、校章・校歌等も協議して決定する予定。
11	細かい点などが気になるので、個別に情報を発信してほしい。	再編準備委員会での検討期間の中で、保護者連絡アプリや市のホームページ等で、タイミングごとに発信していく。
12	教員1人と児童35人は児童数が多すぎるのではないか。少人数の良さが失われるのではないか。	1人対35人と少人数の差は理解するが、再編後も対応できる体制を作り、教職員の指導力を高め、支えていきたい。
13	学校再編準備委員会の委員に選ばれる保護者の負担が大きいのではないか。	学校再編準備委員会に参加いただく委員の負担は認識しており、学校区単位での意見交換等で教育委員会も参加し、負担軽減を図りたい。
14	学校再編により、発言機会が減少することを子どもが不安に感じている。	多様な発言が少人数の中で出来るというところもあるが、一定の人数の中で発言するということも、子どもたちの成長につながると考えており、不安に思われているところは教職員が指導の中で支えていきたい。
15	一定期間の教員配置はいつまで行うのか。	子どもたちの状況を見ながら判断したい。状況に応じて支援も検討したい。
16	再編により、多羅尾小のオペレッタができなくなることを子どもにどのように説明し、納得させればよいのか難しい。	オペレッタの価値は理解しており、再編校でも演劇教室等で表現活動のエッセンスを継続できるよう検討したい。
17	市として、県に対し児童数の定数削減を要望しているか。	毎年、県には要望を続けており、定数が40人から35人になったりと、徐々に改善されてきている。

18	計画書に前回の再編が進まなかった理由が明確にかかれていない。今回はなぜ再編を再び進めるのか。	前回は、地域からの存続希望が多かったため、再編が進まなかった。今回は少子化等を踏まえ、審議会の意見等に基づき再編が必要と判断し、計画を策定した。
19	学力低下や不登校率の増加が懸念される。再編後に、学力・不登校が悪化した場合の具体的な対策を計画に盛り込んでほしい。	再編後に学力や不登校率が悪化した場合は、原因分析を行い、支援員の配置や教職員研修などを実施し、対策を行いたい。
20	I C T機器の導入効果はどうか。現場の実感はどうか。また、A I時代に対する教育方針を明確にしてほしい。	現在、タブレットは1人1台端末配布を行い、A Iドリルの導入等を進めているところ。学力向上の効果については、現時点では十分把握ができておらず、分析が必要。また、情報リテラシー教育の充実を図っていきたいと考えている。
21	説明資料のQ&Aに「既設校を使用し、新設しない」とあるが、信楽小は建て替え中であり、矛盾しているのではないか。	信楽小学校の改築は、老朽化を要因としたものであり、信楽地域の再編のために新築しているわけではない。新たに再編により新校舎を整備する予定はないという意味でご理解願いたい。
22	獣害対策や渋滞対策として、スクールバスの導入は再編を待たず、すぐにでも導入してほしい。	再編にあたり、通学手段は大きなテーマであるが、それとは別に、市全体で酷暑や獣害等、通学について課題を認識しており、並行して検討する必要があると認識している。
23	地域学は、各校の特色を継続して深める必要があり、学年ごとに1年で終わらせるのは違うのではないかと思う。	地域学において、5つの小学校の良さを取り入れる方法については、教育委員会と学校で引き続き検討していく。また、学校再編準備委員会でもご意見を伺いたい。
24	仮に再編ができないとなった場合、現状の5校体制を何年程度維持できるのか。	現段階で、子どもたちの将来のことを考え、このタイミングで再編を進めていきたい。
25	本説明会で示された資料や質問は後で確認できるか。	会議資料等については、後日市ホームページに公開する。
26	小原小学校の改築時に、再編等となった場合に、老人ホーム等で活用するという話になっていたと思うが、まだその活用計画は残っているのか。	老人ホームに使用するという話は承知していないが、再編後の利活用は地域と協議しながら検討する。現段階では決定していない。